

オンラインコミュニティサービスの開発・運営を手がける、株式会社エイプリル・データ・デザインズ（本社：東京都世田谷区。代表取締役：濱田功志。以下、エイプリル）は、クラウド問診ツール「問診ナビ®」における介護および訪問診療向け独占営業権を株式会社メトロネット（本社：東京都新宿区。代表取締役：福田哲夫。以下、メトロネット）より取得し、事業を開始することをお知らせします。

クラウド問診ツール『問診ナビ®』 介護分野および 訪問看護、訪問診療分野向け事業開始のお知らせ



『問診ナビ®』は、患者と医師のコミュニケーションギャップを埋める革新的なクラウド問診ツールです。

『問診ナビ®』を使えば、体の調子が悪いとき、いつでもどこでも手元のスマートフォンで、すぐに病院に行くべきかがわかります。

医師の思考をシミュレートする『臨床推論アルゴリズム』を搭載しており、患者自ら研修医修了レベルの問診が行え、自らの病状を医師に正確に伝えることができ、医師および医療従事者の負担を軽減します。

■ 『問診ナビ®』 の介護分野向け事業を開始

『問診ナビ®』に搭載している『臨床推論アルゴリズム』は、筑波大学総合診療科の前野哲博教授（同附属病院副院長、日本プライマリケア連合学会副理事長）の協力・監修を受けております。

エイプリルはメトロネットと共同で、2015年より開発を進めてまいりましたが、この度介護分野、訪問介護および訪問看護向けの独占営業権を取得し、2020年度の事業化を目指します。

■ 『問診ナビ®』 とは

The diagram illustrates the '問診ナビ®' (Interview Navigation) system. It starts with a patient's input on a tablet, which is then processed by a central system (represented by a laptop) and finally displayed on a monitor. The system is designed to assist in diagnosis and reduce the burden on healthcare providers.

なんとなく調子が悪い…
何科に行けばいいのかな…
たくさん待たされるかな…
うまく説明できるかな…

研修医修了レベルの問診を電子カルテへ転送

緊急を要する患者が事前にわかる
電子カルテ入力の手間を削減
患者の症状を漏らさず聴取できる

問診ナビとは

『問診ナビ®』を用いると、患者もしくは患者のご家族や介護士が、スマートフォンやタブレットから詳細な病歴を入力することができます。

連絡を受けた医師は、メール送信もしくは電子カルテ連携により転送された、精度の高い問診結果を見ながら診断をすることができ、改めて問診をやりなおす必要がありません。

『問診ナビ®』用いることで、いますぐ医師に連絡すべきかどうかガイダンスされるため、ご家族や介護士の心理的負担を軽減し、医師の過重労働を削減できます。

『問診ナビ®』を導入することで、医療従事者の負担を削減し、診療の質を向上することができます。

■ 従来の問診の問題点を解決

本来問診とは、患者一人一人訴える症状が異なるため、問診すべき項目も異なります。それを、同じフォーマットに記入するため、情報量が少なくなってしまうことが問題でした。

『問診ナビ®』では、精度の高い問診結果を得るために、総合診療科 24 症候に対応した膨大な質問項目を収録しています。

総合診療科・24 症候（成人向けの場合）

**210 以上の質問項目に、
延べ 800 以上もの回答選択肢の、
詳細な問診が収録されています。**

**さらに…
小児科専用 8 症候（完成）
婦人科用（開発中）**

一般的な紙の問診票

膨大な問診項目を収録

さらに、介護分野向けバージョンでは「転倒」「やけど」「床ずれ」を追加して収録しております。

■ 『問診ナビ®』の特徴1：『臨床推論アルゴリズム』

『問診ナビ®』は、ベテラン総合診療医の思考をシミュレートした『臨床推論アルゴリズム』を搭載しております。前の質問の答えから、次に聞くべき質問だけが表示されますので、問診時間が必要以上に長くならず、必要な情報を聞き漏らすことなく病歴聴取が行えます。

The screenshot shows a digital questionnaire interface. The main question is "どんな痛みですか？" (What kind of pain is it?). There are six radio button options: "脈打つような痛み（拍動性）", "締め付けられる痛み", "頭が重い、鈍い", "ビリビリした痛み", "ズキズキした痛み", and "その他". The "ズキズキした痛み" option is selected and highlighted in green. A tooltip box is open to the right, providing detailed information about this type of pain. Below the main question, a red banner states "前の質問文の答えに応じて、次の質問が自動的に変わります。" (The next question changes automatically based on the answer to the previous question). The next question is "痛みは心臓の鼓動に合わせて脈打つような感じですか？" (Does the pain feel like it pulses in sync with your heart's rhythm?). The "はい" (Yes) option is selected and highlighted in green.

問診するときに「ズキズキ痛む」、と言われてもイコール拍動性とは限りません。
頭痛は日本語の表現として、たいていの人が「ズキズキ痛む」と表現します。聞き方のコツは、「心臓の拍動性に合わせて痛みますか」と聞くと良いでしょう。
拍動性があったら、片頭痛の可能性が高まりますが、無いからと言って否定することはできません。
締め付けられる、重い痛みは緊張型頭痛に特徴的です。
またビリビリしたような痛み（電撃痛）は、神経痛に特徴的です。瞬時に痛みが走り間欠的に繰り返す痛みが特徴です。

臨床推論アルゴリズムを搭載

■ 『問診ナビ®』の特徴2：『受診勧奨』

体の調子が悪いとき、すぐに病院へ行った方がいいかの判断には、高度な専門知識と熟練が必要です。そのため、「医療機関を受診すべきかどうかは、実際に受診してみないとわからない」という問題が生じており、すぐに治療が必要なのに自己判断で受診を控えてしまうケースや、セルフメディケーションで十分対応できるのに、気軽に受診する「コンビニ受診」のようなケースが社会問題化しています。

『問診ナビ®』では、臨床推論に基づいて情報の重みづけを行い、緊急度に合わせて①red flag：今すぐに受診すべき、②yellow flag：早めの受診を勧める、③green flag：経過を見て症状が続くなら受診を勧める、の3つに分類して表示する『受診勧奨』機能を提供します。

すぐに病院へ行くか、救急車を呼んで下さい。

主訴
頭痛

明日まで待って良くならなければ病院へ行って下さい。

主訴
頭痛

一週間待って良くならなければ病院へ行って下さい。

主訴
頭痛

問診	症候
Q いつからですか？	1年以上前
Q 痛みの強さは？	ごく程度
Q どんな痛みですか？	その他
Q 痛みのある場所は？	後頭部
Q 症状は突然始まりましたか？ (ピークに達する)	いいえ
Q 頭痛は絶え間なく続いていますか？	よくわからない
Q 頭痛が始まった時と今と比べて	よくわからない
Q 頭痛以外に、次の症状はありま	ふらつき : なし めまい : なし 視力障害 : なし しびれ : なし 食欲不振 : なし 不安 : なし

受診勧奨（レッドフラグ、イエローフラグ、グリーンフラグ）

さらに、短時間で緊急性の判断のみできる『救急ナビ』もラインナップしており、急いで救急車を呼ぶべきか、様子を見てもいいかのトリアージ機能も提供しております。

■ 『問診ナビ®』 の特徴 3 : 『文書化機能』

『問診ナビ®』に入力した情報は、そのままカルテに貼り付けることができるテキストとして、文書化出力することができます。

出力した文章は、『問診ナビ®』導入済みクリニックであれば電子カルテに連携され、医師に対してスムーズな情報伝達ができ、カルテ入力の手間が省力化されます。

問診結果

患者ID	診察券No.	氏名	性別	問診日
338			男	

主訴

頭痛

1年以上前から、ごく軽度の頭痛がある。
痛みのある場所は後頭部。
頭痛は突然発症ではなく、痛みは持続性が間欠性かよくわからない。
始まった時と今との変化はよくわからない。
ふらつき、めまいなし。視力障害なし。しびれなし。食欲不振なし。不眠なし。吐き気なし。発熱なし。咽頭痛なし。咳なし。鼻水なし。
頭痛は時間帯とは関係ない。
音・光過敏はわからない。
運動による増悪はよくわからない。

戻る

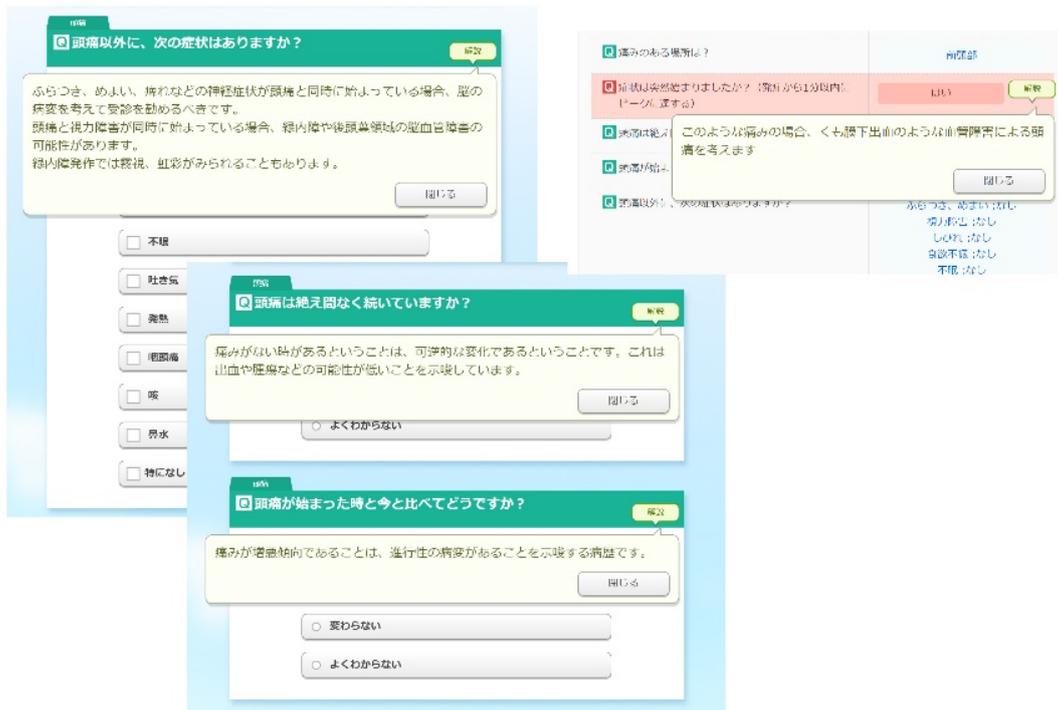
選択してコピー

文書化機能

未導入の医療機関向けには、プリントアウトやQRコード出力などをサポートし、将来的には、電子お薬手帳との連携も開発予定です。

■ 『問診ナビ®』 の特徴 4 : 『学習機能』

『問診ナビ®』には学習機能も搭載されています。
なぜその質問をするのか、それぞれの選択肢にはどんな意味があるのかの根拠を表示することができ、学生やコメディカルの教育にも役立てることができます。



学習機能

※本プレスリリース掲載の画面はすべて開発中のものです。

※『問診ナビ®』は、株式会社メトロネットにより商標登録されています。

<株式会社エイプリル・データ・デザインズ会社概要>

本社：東京都世田谷区

代表取締役：濱田功志

設立：平成4年10月

資本金：1000万円

URL：<http://www.aprildd.co.jp/>

事業内容：オンラインコミュニティ開発・運営、モバイルアプリ開発

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社エイプリル・データ・デザインズ

TEL : 03-5779-7024

FAX : 03-5779-7059

担当 : 濱田

Mail : info@aprilld.co.jp